

松伏町立松伏第二小学校

古代から教室へのメッセージ



第6学年

特色

- 社会科の学習の一環で、埼玉県埋蔵文化財調査事業団の方々にお越し頂き、縄文・弥生土器を見たり触ったりすることを通して歴史の学習を深めた。
- レプリカ等ではなく、本物の土器に触れることのできるとても貴重な機会である。

児童の感想

- レプリカは触ったことがあるけど、本物に触れるとは思っていなかった。土器の形の違いは、用途による違いなんだと分かった。
- 現在も、素材や形を変えて引き継がれていることに気付いた。
- 思っていたよりも大きかった。昔の人が使っていた土器が、何千年も経って今自分の前にあるかと思うと、とっても不思議だ。

成果

- 本物の土器を手に持ち、実際に触れることでしか感じることでできない長い年月や、古代人の思いに想像力を膨らませることができた。
- 本校の地域の歴史や地質にも触れて頂くことで、児童は縄文・弥生時代を自分事として捉えることができるようになった。